

2012年度 第19回新プラトン主義協会大会

2012年9月29日(土)・30日(日)
於 大阪教育大学 柏原キャンパス
大会参加費 1,000円(会員・非会員とも)

プログラム

第一日目

理事会・編集委員会(11:30~12:45)

開会・会長挨拶(12:50~13:00)

会長 今 義博

研究発表①(13:00~13:45)

フィチーノにおける魔術の再定義

金子真一(文星芸術大学附属高等学校)

司会 岡本源太(関西大学)

研究発表②(13:45~14:30)

擬ディオニュシオス・アレオパギテースとプロクロスにおける「神化(ἐκθέωσις)」

袴田 渉(東京大学)

司会 今 義博(山梨大学)

研究発表③(14:35~15:20)

ボナヴェントゥラ『神の御許への精神の道程』における三位一体論の展開

横道仁志(大阪大学)

司会 樋笠勝士(上智大学)

総 会(15:30~16:25)

キュクロスの報告(16:25~17:10)

研究発表④(17:20~18:05)

トマス・アキナスにおける「存在全体の流出」としての無からの創造

芝元航平(上智大学)

司会 藤本 温(名古屋工業大学)

懇親会(18:30~)

第二日目

研究発表⑤(10:00~10:45)

ベルクソンにおけるプロティノス像

——『道徳と宗教の二源泉』における神秘家の概念を手掛かりに—— 持地秀紀(上智大学)

司会 鶴岡賀雄(東京大学)

研究発表⑥(10:45~11:30)

ビザンツ帝国下のキリスト教修道思想における知性概念ノエーシスの展開

袴田 玲(東京大学)

司会 土橋茂樹(中央大学)

研究発表⑦(11:40~12:25)

エックハルトにおける神名の問題

山崎達也(創価大学)

司会 大森正樹(南山大学)

プロティノス・コロキウム (13:30~14:20)

プロティノスにおける幸福と時間—『エネアデス』 I 5[36]を中心に—

伊藤春美 (大阪府立大学)

司会 奥田和夫 (法政大学)

シンポジウム 新プラトン主義と近現代の哲学—永遠と時間をめぐって— (14:30~17:10)

司会

伊藤博明 (埼玉大学)

提題 ジョルダナーノ・ブルーノにおける永遠と時間

岡本源太 (関西大学)

提題 根拠を欠いた意志 —ショーペンハウアーの「一者」—

板橋勇仁 (立正大学)

提題 ベルクソンによるプロティノスの受容

瀧 一郎 (大阪教育大学)

閉会・会長挨拶

会長 今 義博

《アクセス》

最寄り駅：近鉄大阪線〈大阪教育大前〉駅。駅から大学まで徒歩15分ほどです。

【大阪方面から】〈大阪上本町〉駅、〈鶴橋〉駅から、〈榛原〉、〈名張〉、〈五位堂〉行き各準急で約30分。急行の場合、〈国分〉駅で準急に乗り換え。

【奈良方面から】〈大和八木〉駅から〈大阪上本町〉行き準急で約20分。急行の場合、〈五位堂〉駅で準急に乗り換え。

